

野田プログラム実施計画

南島原市立野田小学校
校 長 大平 啓二

【プログラムの意義】

子どもたちの学びと成長を未来へつなぐ「野田プログラム」は、単なる閉校記念事業ではなく、子どもたちがこれまでの学びを活かし、未来へ羽ばたくための特別なプログラムです。子どもたちが主体的に活動する機会であり、これまで培ってきた学びを未来へつなげ、自信を持って新たな一歩を踏み出すための貴重な経験となるはずです。

野田(NODA)プログラムの目的

- * N: notice (気づき) - 知的好奇心や発信力の育成
- * O: open mind (広い視野) - 地域資源の活用
- * D: discuss (話し合い) - 多様性に触れる教育活動の推進
- * A: action (行動) - 本物に出会う教育活動、自分の夢に出会う教育活動、ふるさとへの愛着と誇りを育む教育活動

【主な活動内容】

1. 閉校記念動画制作:通称「野田チューブ(仮)」*実施時期*2学期全般

- 講師(プロデューサー)に、カメラマンの小田原氏(みなちゅーやケーブルテレビ・ラジオ等で活動)を迎え、この動画は、子どもたち自身が企画を考えたり、出演したりする野田小学校の閉校記念プロジェクトである。
- 授業や学校生活の様子、地域の方の思いなど、子どもたちの目線で野田小学校の素敵な部分をたくさん発見、再認識する。
- 2学期全般の学校での子どもたちの様子、10月10日普賢岳登山や11月15日学習発表会では、活動の様子やインタビュー等を撮影計画している。
- 完成した動画は、個人情報保護に配慮した上で公開し、多くの人に野田小学校の思い出を届ける予定である。

2. 「伝えることで広がる未来、可能性」 *実施時期*10月24日(金)午後

- ジャパネットたかたの通販担当である塚本慎太郎氏を講師に迎え、「伝えることの重要性」と「夢や想いを論理的・魅力的に伝える力」を学ぶ6年生の総合的な学習の時間での活動。
- 子どもたちは、自分の夢や目標についてプレゼンテーションを作成し、発表予定。塚本氏から直接フィードバックを受けることで、表現力や自信を大きく伸ばすことに期待したい。
- 活動前半が塚本氏の講義、後半が、自分の夢と叶えるための道筋等をプレゼン発表する。

3. 「Wikipediaで母校の歴史を未来へつなごう」*野田ペディア*実施時期*11月下旬

- ICT支援業務担当のミナサポの協力のもと、南島原市立野田小学校5年生を対象に実施する。
- Wikipediaの仕組みや情報発信のルール(著作権、中立性、出典の明記)を理解し、図書館や郷土資料館を訪れて信頼できる情報を収集・整理する力を養う。
- 子どもたち自身が野田小学校の歴史や価値を再発見し、正確な情報をWikipediaで発信する活動を通して、母校への感謝と誇りを育む。

- ・その他、6年生の総合的な学習の時間の単元「人生はチャレンジ」において、地域の方々の農業、飲食業、ICT活用等の分野での挑戦について話を聞く等、生き方を学ぶ「ふるさとキャリア教育」も進めています。